

東ティモール国コーヒー輸出のためのマーケティング（国別研修）実施に係る委託業務（ランプサム型）（2023-2024 年度）

（公告/公示日：2023年6月29日/公告番号：23a00380）について、以下のとおり回答いたします。

独立行政法人国際協力機構
調達・派遣業務部長(契約担当)

通番	該当頁	項目	質問	回答
1	p. 17	表最下段 「生産管理、組合マネージメント」	具体的にどのような知識・能力を指しているのか。	研修の成果についても参照いただければと存じますが、輸出に向けた品質・生産管理のための組合のマネジメントの手法を指します。
2	P19	表上段4および最下段6レポート名	第一回目研修は2024年2月実施予定である。「研修完了進捗報告書、実施後1ヵ月提出」との記載がある。一方「業務完了報告書、2024年2月21日提出」とあるが、時期が前後しないか。	1年次の業務完了報告書については、2024年3月21日を提出期限とします。また、研修完了進捗報告書については、1年次に限り2024年3月21日を提出期限とし、2年次は1か月後の提出と読み替えてください。
3	P. 13	第2 4. (1) 3)	約2週間の本邦研修を予定、とあるが、来日日から帰国日までを14日間とすればよいか、そこも含めて提案となるのか。	来日日と帰国日を含めず、研修は基本10営業日として研修計画を提案して下さい。
4	P. 15	第2 4. (2) 4)	1年目と2年目の研修で同じ研修員が参加する割合はどのくらいか。	同一研修員の参加は想定していません。
5	P. 20	第2 7.	各業務について、複数人での従事も可とする。と記載があるが、業務総括者も複数人で従事することができるという理解で良いのか。	「研修計画策定・実施」業務は複数名が従事することは可能ですが、業務総括者については、責任所在や指示系統の明確化という観点から、契約期間を通じ1名とするようにお願いします。
6	P. 24	第3 1. (3)	評価表の中では「業務総括者／研修計画策定・実施」の配点のみしか記載がないため、ここでの「業務調整／研修計画策定・実施（補助）」の経験・能力等については記載する必要はないという認識で良いのか。	ご理解の通りです。「業務調整／研修計画策定・実施（補助）」について、詳細の履歴書の提出までは求めませんが、技術提案書の業務実施体制の箇所に、担当の経験・能力の概略を記載して下さい。
7	P. 27	第4 1. (1) 1) ③	国内移動費についての脚注に、研修員及び業務総括者、業務調整員の鉄道、バス備上等の交通費の支払いを含むとあるが、研修監理員については含めなくてよい、という理解でいいか。	研修旅行や見学等でバスの備上が必要な場合は、研修監理員1名が同乗することを前提に手配し、1名追加による経費の増額が発生するのであれば、その増額分もあわせて積算願います。他方、公共交通機関を利用する際には、研修監理員の交通費はJICAで支払いますので、積算は不要です。
8	P15	①受注者の担当業務	「所管センターの会議室および宿泊施設が使用できない場合の会議室および宿泊先の手配」とありますが、外部の貸会議室代が発生する場合は、発注者の負担となるのでしょうか？	ご理解のとおりです。1年目の国内機関（関西センター）では、研修実施月の3か月前の1日から予約開始ですので、出来る限り早期の手配をお願いします。従いまして入札時は、所管国内機関（関西センター）を利用することを前提とした積算をお願いします。なお受注者の都合により、所管国内機関の会議室予約が出来なかった場合には、発注者の負担にて外部の貸会議室を確保いただくこととなります。
9	P13	①受注者の担当業務	「研修員作成の技術レポート等の評価、研修員の技術レベルの把握（個別面接の実施等）」とありますが、この技術レポートは、カントリーレポートやアクションプランとは別のレポートのことでしょうか？	技術レポートは、カントリーレポートやアクションプランを指します。
10	P13	①受注者の担当業務	「技術レポート」における技術とは、「コーヒー輸出のためのマーケティングに関する知見・教訓」との理解でよいでしょうか？	技術の指すところとしては、コーヒー輸出のためのマーケティングにかかる知識・教訓のほか、自国の現状を踏まえた提案を含みます。
11	P13	①受注者の担当業務	東ティモール国において、コーヒー生産者を支援する草の根パートナー型プロジェクトが実施されていますが、それらプロジェクトの報告書等资料を、関連参考資料として配布いただけるでしょうか？ （例）「コーヒー畑の改善事業」（2018年度）、「コーヒー生産者協同組合モデルの普及」（平成20年度）、「エルメラ県レテフォホ郡におけるコーヒー生産者組合自立促進事業」（平成17年度、21年度）、「農村女性による経済活動支援」（平成24年度）など	JICA内の文書規定に基づき、例示いただいた草の根技術協力（パートナー型）の資料について、公表可能なものは以下のとおりです。 https://www.jica.go.jp/Resource/partner/kusanone/country/ku57pq00001nf9nj-att/eti_17_p_te.pdf その他資料は、内部文書（対外的非公開）扱い、又は現在進行形で実施中であるため提供できる資料がない状況となっており、公開は難しいと考えておりますので、ご理解賜れますと幸いです。
12	P15	2) 発注者及び関係機関との連絡調整	本案件の「担当事業部」は、「P33 業務委託契約書案 第5条(監督職員)」にある、「農業・農村開発第一グループ」であるとの理解でよろしいでしょうか？	ご理解の通りです。プログラムの企画立案、研修員の選定と国際約束の確認・応募書類の取り付けは経済開発部農業・農村開発第一グループが担当し、それ以外のロジスティクスにかかる受入業務および研修監理業務は所管センターが担当します。
13	P15	3) 研修員の主体性の醸成	「～研修参加を通じて現地での舗装の課題と問題点を把握した上で、～」とありますが、舗装の課題とは何のことでしょうか？	舗装は誤字です。「～研修参加を通じて現地での課題と問題点を把握した上で、～」と読み替えてください。
14	P17-18	5) 本邦研修の実施 ②関連施設・活動の視察	「2024年度(2年次)は、ワールドスペシャルティコーヒーカンファレンスアンドエキシビジョンが東京近郊にてされる場合、同カンファレンスの参加を想定しており」とありますが、この場合の参加とは、来場者としての参加を想定しているのか、研修参加者がブース出展するというを指しているのか、どちらでしょうか？ブース出展を行う場合は、出展料の計上が必要でしょうか？計上するブースの数と日数（1～3日）をご教示ください。	カンファレンスのブース設置は必要ありません。来場者としての参加を想定しています。
15	P18	②関連施設・活動の視察	「関東地域での関連活動含め、関西地域2泊3日の移動を想定している」とありますが、これは、関西をベースに「関東地域への2泊3日の移動」の間違ひではないでしょうか？	ご指摘の通り「関東地域への2泊3日の移動」が正しいです。研修2年目については、東京近郊センターでの研修を提案することも妨げませんが、1年目と同様に関西圏での研修を提案する場合であって、東京への研修旅行を企画・積算する場合は、2泊3日（うち国際会議出席1日）でご提案ください。
16	P19	5. 成果品等	「業務月報」の提出が含まれていますが、これは契約期間中、人月が発生していない月も含めて提出するのでしょうか？	人月が発生していない月については、その旨ご報告いただければ業務月報は不要です。
17	P20	7. 業務従事者の担当分野・要員配置・業務量の目安	「各業務について、複数人での従事も可とする。」とありますが、業務総括者を2名配置して提案することも可でしょうか？その場合は、業務総括者の経験・能力の配点は1/2ずつとなるのでしょうか？	上記5. 回答を参照下さい。
18	P27	③研修諸経費	国内移動費の鉄道（新幹線代等）を計上する時に、研修監理員の分は含めないという理解でよろしいでしょうか？	上記7. 回答を参照下さい。